



## 本町の消防団が 2大会連続アベック優勝

### 岩手地区支部消防操法競技会

県競技会への出場権をかけた岩手地区支部消防操法競技会が7月13日、八幡平市松尾総合運動公園で行われ、八幡平市、滝沢市、雫石町、岩手町、葛巻町の2市3町からポンプ車の部、小型ポンプの部に各2隊、計20隊が出場しました。

審査の結果、僅差の激戦を制した本町の消防団がポンプ車と小型ポンプの両部門で優勝と準優勝を独占。優勝した第4分団と第14分団が県競技会への駒を進めました。



ポンプ車の部優勝の第4分団（田代）  
分団長＝釜口久寿さん 指揮者＝下屋敷幸男さん  
1番員＝上家皆広さん 2番員＝松本 満さん  
3番員＝大石冬人さん 4番員＝山岸友和さん

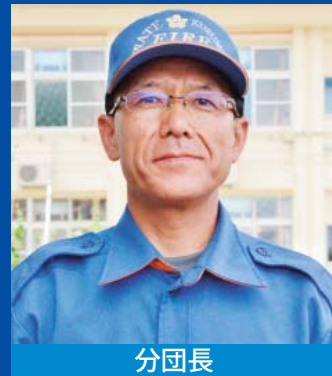
#### ポンプ車の部結果（上位3位まで）

順位	消防団名	タイム (第1線)	タイム (第2線)	総得点
優勝	葛巻町消防団 第4分団	53.34	65.86	179.5
準優勝	葛巻町消防団 第17分団	56.25	64.31	175.0
第3位	滝沢市消防団 第2分団	51.10	64.34	174.0

#### 小型ポンプの部結果（上位3位まで）

順位	消防団名	タイム	総得点
優勝	葛巻町消防団 第14分団	41.89	92.0
準優勝	葛巻町消防団 第6分団	42.04	91.0
第3位	岩手町消防団 第2分団	43.41	90.5

## 優勝した第14分団から喜びのコメント



分団長  
大橋 年光さん (53)

この2年あまりの集大成という思いで、春寒い時期から取り組んできた結果が出て大変幸せです。これも関係者の皆さまのお力のおかげと大変感謝しています。



1番員  
木戸場 克郁さん (33)

みんなで勝ち取った優勝だと思います。全国大会に向けて気を引き締めて、全国大会でも良い成績を残せるよう精一杯頑張ります。



3番員  
太田 真一さん (38)

優勝できて大変うれしいです。全国大会でも良い成績が残せるよう、分団員一丸となって練習に励みます。応援よろしくお願いします。



指揮者  
千葉 信一さん (42)

優勝することができたのは激励、指導してくださった皆さまのおかげです。全国大会に向けて、新たな気持ちで頑張りますので、引き続きご指導よろしくお願いします。



2番員  
下屋敷 茂さん (35)

今回個人賞を受賞できたのは、普段から分団員がサポートしてくれたのおかげです。分団員みんなで獲った個人賞だと思っています。



補助員  
延足 育男さん (41)

優勝という結果は、選手みんなの並々ならぬ努力があったからこそです。補助員として、これからも選手を強気にサポートしていきます。



1 審判員の「操法開始！」の指示を待つ緊張の瞬間 2 2重巻きホースを肩に全力疾走する千葉指揮者 3 火点に向けて的確にホース延長を行う木戸場1番員 4 息の合った機敏な動作で吸管延長を行う下屋敷2番員と太田3番員

## 岩手県消防操法競技会

# 第14分団が優勝

## 初の全国の舞台へ

第39回県消防操法競技会（県消防協会主催）が7月27日、矢巾町の県消防学校で行われ、ポンプ車の部と小型ポンプの部に県内の各地区支部を勝ち抜いた30隊が出場し訓練の成果を競いました。

この競技会は、消防団員のポンプ操法技量の基礎を培い、競技による操作の3原則「安全」「確実」「迅速」の徹底と士気の高揚を図ることを目的に2年に1度開催されているものです。

岩手地区支部の代表として、本町からはポンプ車の部に第4分団（田代）、小型ポンプの部に第14分団（小苗代、寺田）が出場し、磨き抜かれた操法技術を遺憾なく発揮しました。

その結果、第14分団が2度目の県競技会挑戦で見事優勝に輝きました。また、担当操作員ごと選ばれる個人賞では、小型ポンプの部・2番員のナンバーワンに、第14分団の下屋敷茂さんが選ばれ、二重の喜びとなりました。

第4分団は健闘及ばず入賞を逃しましたが、結果如何に関わらず約4ヵ月にもわたる訓練を経て健闘した両分団の勇姿に惜しめない拍手が送られました。

第14分団は11月8日に東京都で行われる全国大会への出場が決定し初の全国への挑戦が始まります。

#### 小型ポンプの部結果（上位3位まで）

順位	消防団名	タイム	総得点
優勝	葛巻町消防団 第14分団	43.50	90.50
準優勝	奥州市消防団 第2分団	43.31	86.00
第3位	奥州市消防団 第27分団	45.82	84.00